

TONICHI（東日印刷）のデジタル部門 昨年引き続きインド工科大インターンシップ生を受け入れ ～9回目 お互いと日本を知る2か月～

東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、社長：西川光昭、以下 TONICHI）のデジタル部門 T-NEXT 本部は、昨年引き続きインド工科大学(以下 IIT)のインターンシップ生2名を受け入れ、IIT卒の先輩エンジニアたちを指導役とする2か月間の研修に入りました。



(2名の IIT インターンシップ生（左から2人目、中央）)

本インターンを可能にしているのは IIT の学生採用支援サービス(GALK)を展開する株式会社 Willings(ウィリングス)との連携です。IIT はインド国内各地に展開し、同社はその多くに拠点とパイプを築いており、日本企業単独では難しい採用活動の支援を行っており TONICHI は同社を通じ通算9回目となるインターンシップ生の受け入れを開始しました。

現在、日本の多くの企業において「IT人材不足・エンジニア不足」が深刻な経営問題となっている中、TONICHI は新規事業のアプリ開発事業を強化しており、すでに IIT 卒の IT エンジニアが法人向け名刺管理システム「ネクスタ・メイシ」をはじめとする製品開発に取り組んでいます。グローバル採用における「早期離職」や「ミスマッチ」という課題に対し、在籍するエンジニアのほとんどがインターンシップを経ての採用という実績があり、昨年はインターン生4名中3名に内定を出しています。会社側は適性や開発力などを、学生側は環境や働きやすさなどをお互い確認できるこの仕組みにより、スムーズな採用と高い定着率を実現しています。

IIT は世界的な理系難関校で、Amazon や Google など名だたる IT 企業の経営層を輩出していることでも知られています。世界中で熾烈な獲得競争が繰り広げられる中、デジタル部門では新規参入である TONICHI が就職先として選ばれています。IIT の先輩が在籍している安心感に加え、会社を挙げて歓迎会などを開催することで短い期間での信頼関係を築いています。



(役員陣や他部署の社員も参加する歓迎会の様子)

TONICHI

東日印刷は、今年で創業 74 年。毎日新聞グループの中核新聞印刷会社で、輪転機 10 セットを備える本社工場は世界最大級。傘下の関連会社を含め関東・福島に 6 工場 23 セットを保有し、日刊紙や各種専門紙など約 90 紙を制作・印刷している。近年はファブリックサイネージの制作・販売やデジタル事業（名刺管理ソフト）などの新規事業を積極的に展開。経営理念は「顧客に信頼される会社でありたい 社員の誇りとなる会社でありたい 地域で親しまれる会社でありたい」。会社方針は「最高の品質と最高のサービス」。

WILLINGS

<「世界に誇る日本」の実現>をミッションとし 2018 年 1 月創業。日本で唯一のインド工科大学(IIT)に特化したインターンシップ事業 GALK(ガルク)を展開し、IIT インターン生を正規雇用に繋げることを目標に掲げる。インターン生のクオリティはもちろん、2 ヶ月間のインターンシップ期間で相互理解を深めたうえで採用を決定できるプロセスが好評。経営理念は「一. サービス利用者様に、感動、驚き、喜びを提供し、パラダイムシフトを促します 一. 従業員に、キャリア最大の高揚感、充実感、達成感を提供します 一. 未来の若者に、私たちの時代より更に活力溢れる社会を継承します」。

〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

<https://tonichi-printing.co.jp/inquiry.html>

※「東日印刷 お問い合わせ」で検索ください